

A年降誕後第1主日 ヨハネ1章1―18節（14―18節）

〔直訳〕

14 そして 言が 肉と 成った
そして 彼は宿った 私たちの中に、
そして私たちは観た 彼の栄光を、
父からの独り子としての栄光を 恵みと真理に満ちた。

15 ヨハネは 証しする 彼について
そして 彼は叫んだ 言いながら、
「彼が あった 私が言ったところの者で
『私の後から来る方は 私の前に 成った、
というのは 私より先に 彼はあった』と」。

16 というのは 彼の充滿から 私たち皆が 受け取った
恵みにつぐ恵みを。

17 というのは 律法は モーセを通して 与えられた
恵みと真理は イエス・キリストを通して 成った。

18 神を 誰も見ていない いまだかつて。
独り子である神が 父の懐にいる方が
その方が 知らせた。

〔新共同訳〕

14 言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であつて、恵みと真理とに満ちていた。15 ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。16 わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。17 律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。18 いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

① 1章1―18節全体の構成

② 1―5節

ヨハネ福音書1章は福音書全体の序に当たる。プロローグ（1―18節）は古い賛歌をもとに作られている。1―5節は創世記の創造の記事を背景とする表現を用いて、永遠の「言」について述べる。いわば宇宙的な広がりの中で、この「言」の力強い働きが描き出される。

⑥ 6―8節

6―8節と15節はオリジナルの賛歌ではなく、福音書記者ヨハネが加えた文章だと見られている。ここから舞台は歴史の中へと移る。ここに登場するヨハネは、神から遣わされて歴史の中でこの「光」を証しする。ヨハネによる証言の内容は15節に述べられる。7―8節では「証しのために」と「彼が証しするようにと」（二回）によって、ヨハネの使命が強調されている。

⑦ 9―13節

言と世との関わりがテーマとなっている。言にとつて、世は「自分のもの」であるが、世は言を認めず、受け入れなかった。しかし、言を「受け取った人々」は「神から生まれた」者であり、新たな創造にあずかった者である。

⑧ 14―18節

「恵み」が四回、「真理」と「独り子」が二回ずつ使われている。これらの語によって14節と16―18節は対応しており、ヨハネの証しに再び触れる15節を囲んでいる。肉となった言は「独り子、父の懐に在る方」であるから、神が「恵みと真理」の方であることを現している。

⑨ ②父の懐に在る方（14―18節）

⑩ a 言の受肉（14節）

9―13節ではまことの光である言の受肉が語られ、言と世との関わりがテーマとなっていた。ここでは再び受肉の出来事に焦点が当てられるが、言が宿った「私たち」に何が起こったかが述べられる。永遠の「言」は私たちの中に宿り、私たちはその「栄光」を目撃する。「私たち」とは、時代を越えた信じる者の群れである。

⑪ b ヨハネによる証言（15節）

言の受肉を述べた後で、ヨハネによる証言の内容が示される。6―13節ではヨハネの証しについて述べた後で、言の受肉を語っているが、それとは逆の順序となる。ここでのヨハネの証しの重点はキリストの先在を示すことにある。15節の動詞「証しする」は過去形ではなく現在形で書かれている。それはヨハネの証しが時代を超えた真理を指し示しているからである。

⑫ c 独り子なる神（16―18節）

「父の懐に在る方」とは、独り子と神との親密さを示す。その独り子によって「恵みと真理」は現れた。父の懐に在る方が地上に来ることによって、人間は初めて本当の「恵み」と「真理」とを知った。こうして、見ることでできない神がこの地上に現された。独り子の受肉によって、まことの神がどのような方であるかを知る道が開かれたのである。

⑬ ③永遠の言の受肉

⑭ a 14節と16―18節は「恵み」と「真理」と「独り子」によって対応している。その間に挟まれた

ヨハネの証しはキリストが天地創造の前から神と共にあったことを証言する。このようにして、永遠の言の力強さを語る1―5節の主題が再びここに現れる。受肉によって時間の中に現れた言はイエスである。「父の独り子」「父の懐に在る方」であるイエスは、神が「恵みと真理」の方であることを生涯をかけて知らせ、十字架において神が人間を救う方であることを現す。その独り子イエスによってのみ神を見ることができると宣言されている。